真岡市行政評価システム

評価対象年度　令和7　年度　　**事務事業評価マネージメントシート**　　作成日　令和8年3月30日

事務事業名	★再生可能エネルギー普及推進事業		担当課・係	市民生活部　環境課　環境保全係
政策名　No	5	「環境づくり」～安全なまちアップ！～	関連する SDGs･DX	
施策名　No	2	自然環境の保全と地球温暖化対策の推進		

成果指標	名　称	単　位	初年度からの実績値の比較 R7	R8	R9	R10	R11	目標値 R11
	市内の自然環境保全活動に参加している市民の割合	%	29.9					38.0
	住宅用太陽光発電システム補助件数（累計）	件	2,604					3,000
	住宅用蓄電池システム補助件数（累計）	件	240					630
	節電に取り組んでいる市民の割合	%	78.3					70.0

事業内容

住宅に太陽光発電システム及び蓄電池システムを設置する市民に対し、設置費用の一部を補助することにより、再生可能エネルギーの普及促進を図るとともに、カーボンニュートラルの実現に向けた取組として当該補助事業を推進する。

令和６年度は、太陽光発電システムについて、82件の申請があった。また、蓄電池システムについては、68件の申請があった。
①住宅用太陽光発電システム設置支援
　件数：82件、補助額：3,236千円、発電量：456kw
②住宅用蓄電池システム設置支援
　件数：68件、補助額：4,070千円、発電量：628kwh

前年度の課題（Check）

地球温暖化防止等に関する市民の関心を高めるとともに、ゼロカーボンシティ宣言の実現に向け、現在策定を進めている第３次真岡市環境基本計画に地方公共団体実行計画（区域施策編）及び地域気候変動適応計画を盛り込み、地球温暖化防止等に対するより効果的な施策の策定や市民等への周知を推進する必要がある。

7年度振り返り

【１】実績（Do）７年度に実施した事業
・令和７年度は、太陽光発電システムについて、69件の申請があった。また、蓄電池システムについては、86件の申請があった。
①住宅用太陽光発電システム設置支援
　件数：70件、補助額：2,738千円、発電量：412kw
②住宅用蓄電池システム設置支援
　件数：86件、補助額：5,158千円、発電量：628kwh

・令和８年３月で計画期間が満了となる第2次真岡市環境基本計画の次期計画となる第3次環境基本計画を策定し、再生可能エネルギーの普及促進やカーボンニュートラルの実現に向けた施策を取りまとめた。
・当該計画の策定とあわせ、次年度以降の具体的な支援策として、家庭向け脱炭素化支援事業費補助の制度設計を行った。

【２】結果と課題（Check）
・太陽光及び蓄電池の設置費用の補助により、再生可能エネルギーの普及促進が図られ、カーボンニュートラルに向けた取組が推進されたものの、申請額は予算上限に達しなかった。
・設置支援件数を増加させるために、補助の要件などの見直しが必要である。
・第３次真岡市環境基本計画の策定を受け、地球温暖化防止やカーボンニュートラルの実現に向けた取組の強化が求められており、太陽光及び蓄電池に加え、新たな品目についての支援策の検討が必要である。

今後の方向性と具体策

□ 廃止　□ 休止　□ 目的絞り込み　■ 目的拡充　□ 事業統廃合　□ 事業のやり方改善　□ 予算削減　■ 予算増大　□ 現状維持(従来通りで特に改革改善しない)

【３】具体的な改善策(Action➡Plan)　課題に記載された内容の解決に向けた取り組みについて、**いつ、何を、どのように実施し解決に導くのかを具体的に**記載してください。

（1）ただちに取り組むべきこと
・太陽光及び蓄電池の補助に加え、下記の項目について、新たに費用の一部補助を実施する。
①ZEH住宅、②充給電設備、③電気自動車、④省エネ家電（エアコン、冷蔵庫、照明器具）

・太陽光及び蓄電池の補助については、運用を一部変更し、国・県の補助との併用を可とする。

（2）長期的な計画で検討すること
事業者向けの脱炭素化の支援について検討を行う。